

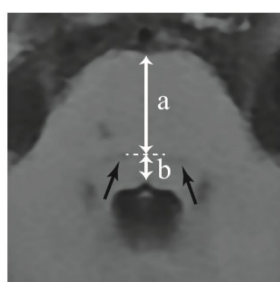
# 運動失調症の画像診断

## 【背景と目的】

脊髄小脳失調症には様々な病型があるため、非専門家には診断が難しい場合も多い。したがって頭部MRI所見から、簡単に正確な診断に至る方法を生み出すことは非常に重要である。本研究は遺伝子診断などで正確な診断に至った症例の画像解析結果から、異なる疾患から正確な診断に導くフローチャートを作成することである。

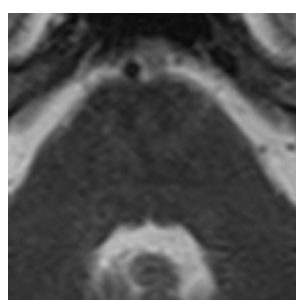
【成果】 橋のシグナル変化と、橋底部と被蓋の距離比(BT-ratio)を組み合わせることで、正確な診断に至ることが容易になった。

## 【方法】

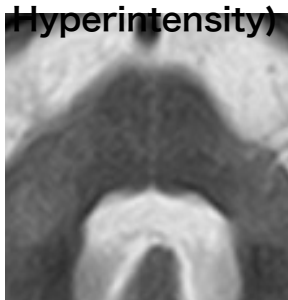


BT-ratio (=a/b)

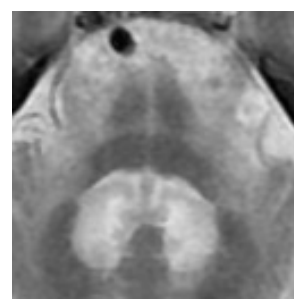
Normal signal intensity in pons



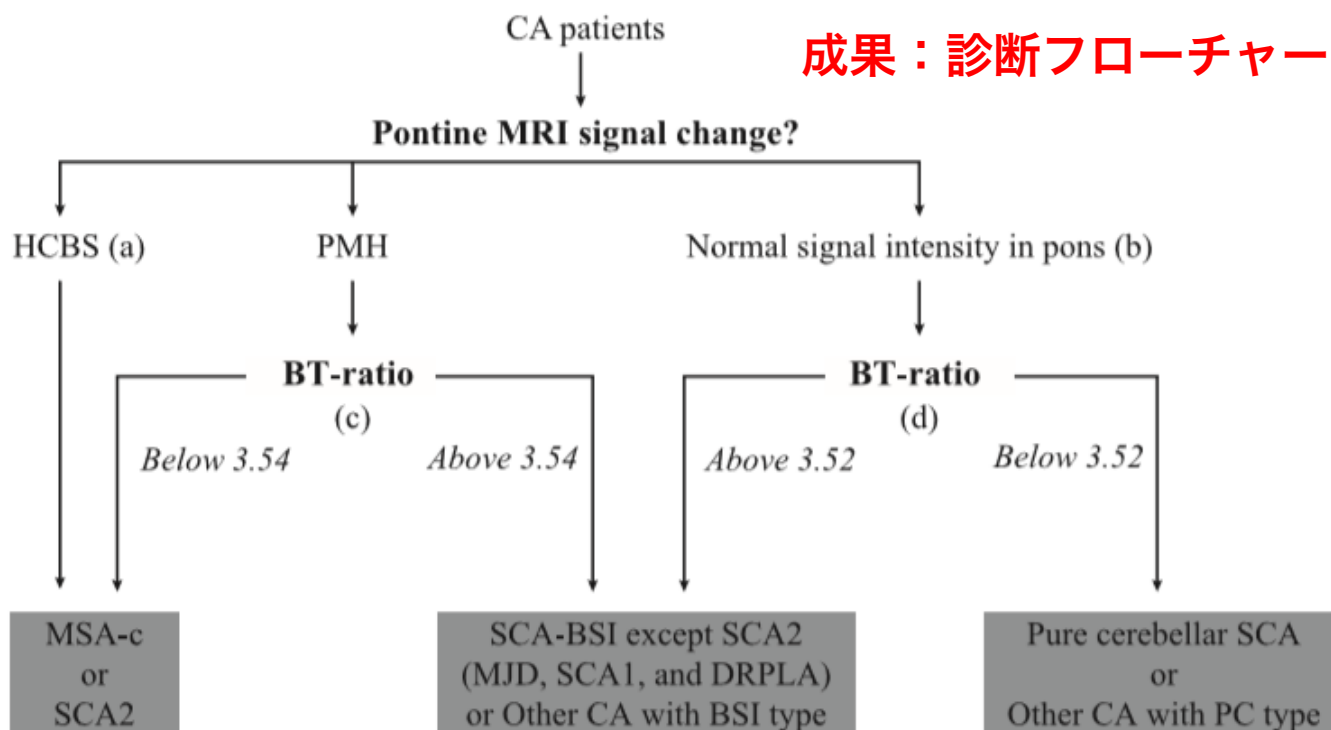
PMH (Midline Pontine Hyperintensity)



HCBS (Hot cross bun sign)



## 成果：診断フローチャート



研究分担者：石川欽也（東京医科歯科大学）、

研究協力者：東美和、尾崎心、服部高明、石井俊、佐藤望、横田隆徳

(成果文献：Miwa Higashi, et al. A diagnostic decision tree for adult cerebellar ataxia based on pontine magnetic resonance imaging. Journal of the Neurological Sciences 387 (2018) 187-195.)